

めざす子ども像

**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標

**「つながる力を育てよう」**

今年度の取組紹介

## ★図書室の充実

各小学校区では、熱心なボランティアの協力による絵本の読み聞かせや、図書の修理、図書室の整備が行われました。また、中学では定期的に来られる図書館司書と、書棚レイアウトについて話し合い、よりよい図書室づくりに努めました。



## ★漢検受験資格の拡大（右写真上）

漢字や英語検定の資格が、将来の受験や就職活動において重要視される見通しの中で、今年度から保護者や児童の要望に応え受験対象を小学5年まで広げました。今後、さらに受験対象を広げていきたいと思えます。



## ★公民館との連携（右写真下）

伏見小・こども園の子ども達が、公民館サークルの指導の下、和楽器に触れ体験することで、より日本の伝統音楽への興味の幅を広げました。

今年度のまとめ

コーディネーター自身が、「子どもと触れ合うのが楽しい！」と思いながら活動できているのが一番のポイントです。公民館との連携に置いても、箏や尺八といった和楽器に触れる機会がめったにない小学生にとって、とても興味深く、是非来年度も続けてほしいという子供たちの声を聴いています。

図書に関しても、読み聞かせはもちろん、司書さんを招き、図書室の整備に力を注ぎました。コーディネーターのきめ細やかな各幼小との連携によって、常にそれぞれのニーズに耳を傾け、十分な話し合いをしながら、できる範囲の活動が今年度もできたと思えます。

来年度に向けて

中学生が地域の活動に参加する目的は、将来地域を支える一員となることの自覚と、責任感を持つことです。地域清掃や、自治会の防災訓練にも積極的に参加し、地域とのつながりを深めてほしいと思えます。また、コーディネーターも、先生方と話し合いながら、地道な活動ではありますが、息の長い活動を、地域に発信し続けていきたいと思えます。

めざす子ども像

**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標

**「つながる力を育てよう」地域と共に育つ生徒の育成**

## 今年度の取組紹介

本年度は、地域連携の充実を目指し「地域に開かれた信頼される学校づくり」を推進し、生徒が活動する場の提供と支援の体制の活性化を進めてきました。

伏見中学校区では、地域の担い手としての中学生に対する地域の期待は大きく、生徒がボランティア活動や地域交流活動に生徒が積極的に参加することで、地域からの信頼が高まるとともに、生徒自身が「地域から必要とされる人材である」ことを肌で感じ、自己有用感や達成感を得ることにつながっています。地域交流活動としては、2学期に実施される「伏見まつり」と「西大寺北地区防災訓練」が、地域の大きな行事として位置づけられています。

また、ふれあい行事（文化発表会・体育大会・合唱コンクール）など地域との交流を深める機会が増えました。

また、部活動支援として、主に職員会議が行われる日の午後、地域や保護者の方々に部活動の巡回ボランティアとして参加していただき、部活動の見守り活動を実施した。図書ボランティアとして、1年生全学級への読み聞かせ活動と、図書室の開設、本の貸出、ブッカーの取り付け等に取り組んでいただきました。



伏見まつりへの参加

西大寺北防災訓練への参加



## 今年度のまとめ

昨年度の「全国学力学習状況調査の質問紙」において、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問の回答が、実際の参加状況を鑑みても想定より低く、また、生徒は地域から評価されているという実感を持ってないという課題がありました。一学期に実施した花植え活動や、野神公園清掃では、生徒が地域の方々とふれあい、自治会長さんからボランティア参加についての感謝の手紙を受け取ることができました。（校長室前に掲示）生徒たちは「自分たちが地域の中で役立っている」ことを実感できました。このことにより、地域の方々とふれあいの機会を増やすことが、本校の課題を克服することに直結することがわかり、環境整備事業等の拡充を行いました。

## 来年度に向けて

生徒会では「つながっていこう自分の道へ」というスローガンを創り、生徒それぞれが主体的につながる力を養おうとしています。地域の方々と全校生徒が協同で物事に取り組むという学びの機会を増やすことは現在の伏見中学校にとっては非常に重要なことです。その際、安心・安全な事業実現のために健康面での配慮を行いながら交流の機会を創出し、生徒たちの活動の支援をしていきたいです。

めざす子ども像

**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標

**「いきいきわくわく地域とともに」～伏見でふれ合い、学び、育つ伏見っ子～地域に根ざした「自ら学ぶ子ども 心豊かな子ども たくましい子ども」の育成**

## 今年度の取組紹介

主な柱を「地域連携による伏見まつりの開催～子どもの笑顔が地域を笑顔に～」 「地域文化遺産学習等を通じた学校教育活動の充実」 「夏季清掃や本の補修作業等を通じた学校環境整備」とし、取組を進めてきました。

「伏見まつり」を、地域の諸団体、PTA、学校が連携して開催しました。伏見中学校ギターマンドリンクラブによる演奏会、自主防犯・防災協議会による防災訓練等多くの内容を盛り込み、地域の方々、子どもたち、保護者、教職員が、笑顔あふれる充実した一日を過ごしました。



学校教育活動充実の側面からは、地域の方々による家庭科学習支援や絵本の読み聞かせ活動、昔あそび大会等を行いました。このことによって、学習の場が和やかになり、互いに協力し合う雰囲気形成される等の効果を得ています。子どもたちも、地域の方とふれ合ったり、一緒に活動したりすることをごく自然なこととしてとらえていました。



学校環境整備の側面からは、夏季清掃や季節環境づくり図書室の蔵書補修等を行いました。多くの方々が、より良い学校環境づくりに力を尽くしてくださいました。

## 今年度のまとめ

教育活動の活性化、地域拠点としての学校の機能の維持向上、子ども・地域・学校相互のより良い関係形成の面において、次のような様子から、一定の効果を得ることができたと考えています。

- ・子どもたちの地域に対する愛着、関わってくださる方々への感謝の気持ち等が育ってきました。
- ・ホームページの充実等、学習成果の発信を積極的に行えるようになってきました。
- ・地域の方々の学校教育活動への参加や、学校の地域行事への参加を円滑に行えました。
- ・伏見まつりへの教職員の参加等を通じて、地域の方々と学校との連携や協働の姿を、具体的な形で子どもたちに示すことができました。

## 来年度に向けて

諸活動に携わってくださる方の世代交代や新たな人材の参加は徐々に進みつつありますが、継続的かつ安定的な人材の確保が課題であると考えます。また、毎年予算が減額されることや働き方改革の観点からも、事業の見直しの必要があると考えます。地域の方の今まで以上のボランティア的協力や教職員の地域行事への参加方法を検討していく必要があると考えます。

めざす子ども像

**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標

**「出会いと体験から豊かな学びを」ー地域ぐるみの子育てー****【今年度の取組紹介】**

○「学習支援ボランティア」事業が年間を通して展開されています。5月28日の「芋苗さし」では、1年生とわくわく学級の児童で作物を作る学習をしました。さつま芋のつるを見せてどの部分を土の中に入れてよいか教えていただき一人1本ずつつるを畑にさしました。

○1月29日に1年生の「昔の遊びをしよう」がありました。1年生75名が体育館で駒回し、あやとりなど11種類のコーナーを回って地域の方々に遊び方を教えてもらいました。作り方や遊び方、ルールなど、手本を示しながらやさしく教えていただき、子どもたちにとって、とても楽しい学習の時間となりました。

○他にも2年生が町探検で地域の方にあやめ池神社の歴史について教えてもらったり、6年生が環境教育の一環としてEM団子を活用したプール清掃を行ったり地域の方々から支援していただきながら、様々な体験学習を行っています。

○今年度から、『キッズ英語教室』『ブックトーク』『絵本と音楽の広場』など、ボランティアの協力もと新しい取り組みを行いました。子どもたちにとっては新鮮で、わくわくする体験ができました。

**【今年度のまとめ】**

本校の教育活動に、たくさんの地域のみなさまのご協力を得て、様々な行事を行うことができました。図書館ボランティア活動や学習支援ボランティア活動など、年々充実しています。学校と地域の連携が深まり交流の幅が広がることで、子どもたちにとって効果的な取組となっています。関わってくださったボランティアさんの累計は1800名を超え、めざす子ども像の「心豊かに、共に生きぬく子ども」を育てることにより迫ることができたと感謝しています。

**【来年度に向けて】**

次年度も「地域ぐるみの子育て」を大切にして継続した取組を進めたいと考えています。本年度以上に学校と地域との連携を深めて、人々と繋がり、交わる活動を推し進めていきます。また、PTA・保護者に対しても「地域から学び、地域に誇りをもつ」児童の育成を目指す本事業への理解をさらに深めていただくよう、取組を充実していきたいと考えています。

めざす子ども像

**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標

**自分たちが暮らす地域に親しみを持ち、自分たちが地域の人たちに支えられていることを感じられるような行事を作っていく。**

## 【今年度の取組紹介】

## ◆能体験・鑑賞（1月24日木曜日）

日本の伝統芸能である能を体験・鑑賞する取組を継続しています。地域にお住まいの金春穂高さんはじめ10名ほどの方々に来校いただき、4年生は、能のお面をつけての歩き方や所作、和楽器の演奏などを教わりました。体育館で各ブースに分かれ、子どもたちは順番に体験していました。その後、能の鑑賞として目の前で迫力ある演目「高砂」を見させていただきました。日頃できない貴重な体験でした。



## ◆昔あそび（1月24日金曜日）

毎年子どもたちに「昔あそび」を教えに、地域のボランティアの方々のご来校くださいます。子どもたちも楽しみにしている行事の一つです。コマ回し、あやとり、百人一首（ぼうずめくり）、折り紙、お手玉など、様々な遊びを教えていただき、一緒に楽しむことができました。

この交流を通して、地域の方々と子どもたちとの繋がりが深まり、子どもたちが自分の町を好きになる大切な行事となっています。



## 【今年度のまとめ】

本校は水曜日の放課後に運動場や体育館、北っこルームを開放して「放課後子ども教室」、土日は「わんぱく広場」があり、地域コーディネーターのおかげで、子どもたちは様々なスポーツや遊びに取り組んでいます。地域の防災訓練では本校を会場に、小中一貫教育の取組として伏見中学校が参加、クラブ活動には平城中学校が参加してくれました。本校は2つの中学校に進学するため、地域も2つにまたがり交流を深めています。その他には、「ぶっくらぼこ」による本の読み聞かせや図書室の本の整理といった活動も子どもたちにより良い環境を作っていただいています。

このような様々な取組により、子どもたちは地域の方々に支えられていることを感じ、自尊感情が育ち、人や土地、地域を愛する心が育まれています。

## 【来年度に向けて】

今年は昨年度に比べ、ホームページでの学校の取組や地域との交流の紹介が少なくなりました。地域や保護者の方々楽しみにしておられます。来年度は昨年度のように少しでも多く発信することで、子どもたちの様子を多くの方々に知っていただきたいと思います。そして、地域の方との繋がりを強くしていきたいと思います。

めざす子ども像

**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生き抜く子ども**

取組目標

**地域の方と心を通わせ、様々な感動体験を通して豊かな心を育む****【今年度の取組紹介】****◇ 地域交流事業 いきいき広場（文楽鑑賞）**

地域の高齢者と交流する「いきいき広場」では、コーディネーターの方を通して、たくさんの地域の方に来園していただき、6月に文楽の鑑賞をし、伝統ある日本の人形にとっても興味をもちました。講師の方々や地域の方とペアをつかってふれ合い遊びをして「お名前はなんていうの。」「かわいい手だね。」と、笑顔で声をかけてくださる一言一言に、地域の方の温かさを感じ、子ども達も喜んで関わりながら、歌を歌ったり手遊びをしたりして、子ども達を日頃から見守ってくださっているたくさんの方とふれ合って過ごすことができました。

**◇ 体験活動 お茶会・サッカー教室**

今年度からこども園となり、新しい体験活動の取組として、9月に講師を招き「お茶会」と「サッカー教室」を実施しました。

お茶会では、日本人の心として挨拶を丁寧にすることや、自然の恵みに感謝する気持ちをもつ大切さを教えていただき、地域の方や友達とお茶を点て合いました。

地域の方も、子ども達を微笑ましく見守ってくださり、温かい雰囲気の中で、古くから伝わる文化に触れることができました。サッカー教室では、たくさんの地域の方や保護者に温かい声援をいただくことで、意欲的にボールを追いかけたり、諦めずに取り組んだりする姿も見られるようになり、少し難しいことにも挑戦しようとする気持ちに繋がり、たくましい心と体を育むことができました。

**◇ 世界遺産学習 蚕の飼育**

地域の方に飼育方法を教えていただきながら蚕を育てました。子ども達が毎日欠かさず餌やりや世話をし大切に育て、地域の方が唯一の餌である桑の葉をくださることもありました。日々成長する蚕を見て「そっと優しくだったら触っていいよ。」と伝え合い、蚕が繭になり、成虫となった時には、餌も食べず子孫を残し、命が尽きるまでただじっと待つ蚕を子ども達は最後まで見届け、一つ一つのはかない命へのいたわりの気持ちが芽生え、この経験を通して、大切に育てたからこそ、命の大切さに気付くことができました。

**【今年度のまとめ】**

今年度からこども園に移行し、昨年度とは同じようにできないことも地域の方は「子ども達のためなら」と、協力を惜しまずご尽力くださいました。年間を通しての「いきいき広場」は、地域の高齢者とふれ合える貴重な時間で、回数を重ねるごとに子ども達が心待ちにして、たくさんの人の優しさにふれ、思いやりの心が芽生えました。また、講師を招き、英語を使って遊んだり、伝統文化に触れたり、体を思いきり動かしたりする活動が、子ども達の興味や関心の意欲を高め、豊かな心を育むことにつながりました。

**【来年度に向けて】**

今年度取り組んだ、地域交流事業、世界遺産学習事業、地域学習事業、体験活動事業、絵本読み聞かせ活動などは、活動方法を見直したり、工夫したりしながら継続できるように取り組み、地域との関わりがさらに深まるように、地域力を活かした様々な計画を進めていきたいです。そして、取り組みの中の子ども達の様子を掲示し、地域の方が、子ども達にとって大きな力となっていることを、啓発できるようにしたいです。

めざす子ども像

**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく****子ども**

取組目標

**身近な人と人との輪の中で、豊かに学び、自ら考え行動する子どもを育成する。**

今年度の取組紹介

～地域の人と一緒に楽しもう事業～

**【みんなで運動遊び】**

土曜参観日に、ゲストティーチャーに来ていただき、親子で運動遊びを行いました。体操やふれあい遊び、ゲーム遊びや競走など、いろいろな動きや活動があり、子どもも大人も歓声をあげながら、体を思い切り動かして楽しむことができました。親子体操では、家庭で遊びながら体のバランス機能をアップする遊びなどの説明もあり、保護者の感想では「家でも子どもと遊んでみたい。」「大人もとても楽しく参加できた。これからも子どもとたくさん触れ合いたい。などの感想が聞かれました。園の保育でも、楽しんで体を動かす活動をたくさん取り入れるように心がけたので、苦手なことにも挑戦しようとする姿が見られました。

**【お茶を楽しもう】**

年に3回、挨拶の仕方からお茶の作法など、日本の伝統文化に触れる体験をさせていただきました。今年度は4歳児も1回お茶を頂く体験をし、初めての経験で少し緊張した様子でしたが、お茶を頂くと「お抹茶、おいしい。もっと飲みたくなるなあ」と美味しくいただきました。5歳児の3回目は親子で行い、お家の方にお茶を点て、飲んでいただきました。「美味しかったわ。ありがとう」と声をかけてもらおうと、とても嬉しそうな姿がありました。お茶を通して相手のことを考えたりいろいろな人や物に感謝をしたりすることが大切であると教えていただきました。



今年度のまとめ

地域の方と一緒に年間通して様々な経験する中で、子どもたちが興味や関心をもち、活動を楽しみにしたり、自分なりに取り入れやってみようとしたりする姿につながりました。また、地域の方との触れ合いの中で、親しみをもち自分から挨拶をしたり話しかけたりして積極的に関わろうとする姿が見られました。地域の教育力を活かしたゲストティーチャーの様々な体験活動を保護者にも参加や参観などを通して知らせていくことで、園教育の理解も深まり、有意義な活動となりました。

来年度に向けて

より豊かに学び、自ら考え行動する子どもの育成をめざして、引き続き活動を継続したり、見直ししたりして、園や地域、家庭が連携して充実した活動となるようにしていきたいと思っています。